

桜のつぼみも膨らみ始めた3月12日、中学校で卒業式が行われました。

130人の卒業生は、来賓保護者、そしてお世話になった先生方、在校生に見守られ入場。式では緊張した面持ちの卒業生一人ひとりに卒業証書が授与されました。

最後に、青少年相談員さんからガーベラの花が卒業記念に贈られ、思い出と新たな希望を胸に会場を後にしました。

また、各小学校でも3月19日に卒業式が行われ、112名の卒業生は中学校の制服に身を包み、中学校生活へと旅立ちました。



中学校卒業式



日吉小卒業式

## 思い出を胸に新たな旅立ち



## ようこそ先輩！ 依知川伸一さん

3月1日、中学校で「三年生を送る会」が開催され、昨年に引き続き光中出身のプロベーシスト 依知川伸一さん（昭和52年卒）が来校し、素晴らしいステージで華を添えてくれました。

当日は、各学年の発表に続き依知川さん自身のバンドである「BARAKA」のメンバー2人と共に登場すると大きな拍手が沸き起こりました。ニューヨークでのライブビデオや楽しいお話を交えオリジナル曲を披露の後、卒業生代表とともに「世界でひとつだけの花」を演奏してくれました。

生バンドの演奏を間近で体験し、生徒はもちろん、先生方や保護者の皆さんにとっても感動のひとつとなりました。



作文を発表する  
田川 大さん(2年)

地域から国際化を推進し、国際理解や身近な外国人との交流を深めることを目的に、千葉県や香取・海浜地域の市町による主催で、『観る・聞く・語る』国際交流フェスティバルが3月7日、銚子市民センターで開催されました。

公募で選ばれたボランティアが企画

や運営を担当し、小・中学生による国際化を考える作文発表会や、米国、韓国、中国、フィリピン、タイなど世界11カ国を紹介する国際交流広場が設置され、身近に世界を体験することができました。

光中学校からも、田川大さんの作文発表や、生徒たちによる姉妹校のアメリカ合衆国・メイビル中学校の紹介をしました。

会場は、たくさんの人でにぎわい、普段見慣れない各国の民族衣装を着たり、伝統的な料理の味を楽しみ、国際交流の輪が広まりました。

## 国際交流フェスティバル開催！